

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	889 総合型地域スポーツクラブ支援事業	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	06	保健体育費
基本 施策	34 だれもが気軽に楽しめるスポーツを振興する	目	01	保健体育総務費
		細目	452	生涯スポーツ推進事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	52	総合型地域スポーツクラブ支援事業
担当部署	コード	450800	担当者	22 - 9680
	名称	スポーツ振興課	氏名	宮崎成由 連絡先 (内線) 3836

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	地域において、地域スポーツクラブを創設しようとしている地域並びに創設後活動する地域の住民組織 ※対象件数
成果(どうする)	自らスポーツを実践する意識の高揚と、異年齢の交流を図ることで地域づくりができる。
根拠法令・要綱等	
開始年度	平成 年度 関連事業
終了年度	平成 年度
H22 事業 内容	◎総合型地域スポーツクラブ創設支援事業(委託) なし ◎総合型地域スポーツクラブ活動支援事業(補助) ・猪田らくらぶクラブ(20・21・22)、いがまちスポーツクラブ(20・21・22)、中瀬スポーツクラブ(20・21・22) おおやまだスポーツクラブ(21.22.23) ◎伊賀市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会による研修会等の開催
社会情勢 の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
事業推進説明会の開催	地区	地区	目標	2	目標	1
			実績	1	実績	0
			0	0	0	0
創設支援事業	地区	地区	目標	3	目標	2
			実績	1	実績	0
			0	0	0	0

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
創設・活動地区数	事業内容を十分説明し、住民主導での創設・活動を図る。	組織数	目標	9	目標	11	
			実績	9	実績	9	
			0	0	0	0	
			目標	目標			
			実績	実績			

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	1,380	1,080	270	270
	県支出金				
	地方債				
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,380	1,080	270	270
事業投入人件費(B)		0.7人	0.5人	0.5人	0.5人
フルコスト(A)+(B)		6,420	4,880	3,870	3,870

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
効率性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	○
	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】	
	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
昨年度の 取組状況	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	昨年度の 取組状況	伊賀市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会を開催し、意見交換会等を実施した。県において、各クラブを支援するため「みえ広域スポーツセンター」が平成23年2月設立された。

改善策	25年度までに、自治協議会の支援及びクラブの活動に対する参加料等、財源の確保を図っていくよう指導する。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	松本和久
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 財政支援は難しいが、既存クラブ活性化の支援を行う。 新規クラブ設立の希望があれば、支援を行う。
現時点における課題、その他	市の補助が終了したスポーツクラブは、活動が極端に低下しているものがある。 (平成23年度及び平成24年度は大山田スポーツクラブのみの財政支援で他は終了している)
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	市内総合型地域スポーツクラブによる連絡協議会を開催し、情報交換・情報共有を図る。 県が22年度に総合型地域スポーツクラブ支援のために設立した「みえ広域スポーツセンター」を活用し支援策を検討する。